

**【二液型ウレタンオイルフィニッシュ用塗料】****NA-6 オリオ2 (低臭タイプ)****【特徴】**

- ① ホルマリン及び有害な重金属類は含有されておられません。
- ② トルエン、キシレンは含有されていません。又、低臭溶剤を使用し、比較的臭気が少ないタイプです。
- ③ 天然植物油を主成分としています。但し、乾性油(亜麻仁油など)のように、酸化重合反応によるアルデヒド類の発生はありません。
- ④ 硬化剤を使用することにより素早く反応し、乾燥性に優れています。
- ⑤ 木材に浸透し、反応硬化するため、塗膜物性は大変良好です。
- ⑥ 透明(クリア)塗料であり、黄変色がありません。
- ⑦ 拭き取り作業後の布ウエス等に自然発火がありません。
- ⑧ F☆☆☆☆対応商品(日本塗料工業会自主管理登録、登録番号K03090)

**【用途】**

- ・ 木材内装用 (造作家具、建具、床、壁など)
- ・ 無垢材テーブル、チェア、キャビネット
- ・ 木製食器、箸

**【品種】**

- ・ NA-6 オリオ2 A液 … 植物オイル (天然の植物種子から採れる原料)
- ・ NA-6 オリオ2 B液 … ポリウレタン樹脂硬化剤
- ・ NA-6 オリオ2 専用希釈剤 … ほとんど臭いのない希釈溶剤
- ・ NA-6 オリオ2 専用リターダー … 拭き取りやすくする為の乾燥遅延剤  
但し、溶剤系の臭気あり
- ・ NA-6 オリオ2 洗浄用溶剤 … 塗装作業後の刷毛や容器の洗浄用

**【使用方法】**

<標準塗料配合比>

NA-6 オリオ2 A液	100
NA-6 オリオ2 B液	50
NA-6 オリオ2 専用希釈剤	50

※ 混合時白濁することがありますが、よく攪拌すると透明になりますので問題ありません。

※ 木材の種類や塗布面積、温度条件などにより希釈剤の量を増減してご使用下さい。又、拭き取り作業性改善の為、乾燥遅延剤として「NA-6 オリオ2 専用リターダー」を単独又は専用希釈剤と混合して下さい。

## <標準オイルフィニッシュ塗装仕様> (テーブルトップの場合)

- ① 塗装する前に素地研磨は十分に実施して下さい。【標準サンドペーパー#180~#240】
- ② 素地面の研磨粉を除去した後、刷毛にてオリオ2の一回目の塗装をします。  
【一回目塗布量50~60g/m<sup>2</sup>】  
十分に浸透させた後、サンドペーパー400番にて研磨しながら擦り込みます。これによりオリオ2がよく浸透し、目止め効果もあります。  
ネバついてくる前に擦り込み終了して下さい。もしネバつきが出て擦り込みにくい場合は再塗装して下さい。(その際に、NA-6オリオ2専用リターダーを混合することにより作業性が良くなります。) 最後はウエスにてきれいに拭き上げます。  
オリオ2は、オイルの吹き戻しがないように改良してありますが、もし吹き戻しがあれば布ウエスにて拭き取ります。
- ③ 一晩(20~25℃)乾燥後にオリオ2の二回目の塗装をします。  
【二回目塗布量50~60g/m<sup>2</sup>】  
一回目と同じ作業を繰り返しますが、サンドペーパーは#600とします。  
【注】  
尚、フロア塗装の場合は、上述の擦り込み作業は行う事はありません。一回目の拭き取りのみで一晩乾燥後、サンドペーパー#320~400で塗面研磨した後に二回目を塗装し、ウエス拭き上げのみとして下さい。
- ④ そのまま一晩放置後、最後にウエスにて仕上げ拭きをしてオイルフィニッシュ完了です。  
オリオ2は他のオイル塗料と違って導管からの吹き戻しがないように改良してありますが、乾燥後、もしもオイルの吹き戻しがある場合は、耐水ペーパー1000~2000で研磨除去して下さい。
- ⑤ 尚、更に手触り感の良さを出す場合は、エコオリオフィニッシュ(自然系蜜ロウワックス)を塗装して下さい。感触と艶の良いワックス仕上げとなります。  
特にフロア用には、光沢の出ない艶消タイプのワックスでキャピタルオリジナル品「オリオ2メンテナンス用ワックス」を御使用ください。
- ⑥ オリオ2着色をする場合は、油性系着色剤『エコオリオステイン』又は溶剤系着色剤『カジュアルステイン』をオリオ2に混合してご使用下さい。
- ⑦ 濃色の着色をする場合は、オリオ2塗装の前に下地着色として「ピュアPGステイン(アルコール着色剤)」又は「ワンダーステイン(水性着色剤)」をご使用下さい。

### 【注意事項】

- ① NA-6オリオ2専用希釈剤を必要以上に入れ過ぎますと白濁して使用不可となります。
- ② オリオ2A液・B液・希釈剤を混合したものは「7~8時間程度(20℃)」で使用出来なくなります。(増粘してきます。) 時間内に使用する量だけ調合して下さい。
- ③ 自然発火はありませんが、塗装作業時は、必ず火気を避けて換気を充分におこなって下さい。
- ④ 上塗りをする場合は、弊社指定のポリウレタン樹脂塗料をご使用下さい。